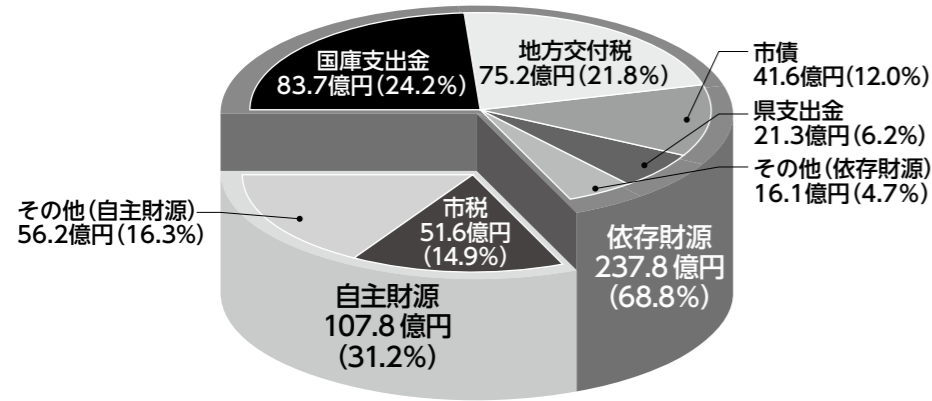


# 一般会計 総額 345億5,721万円

## 収入の内訳

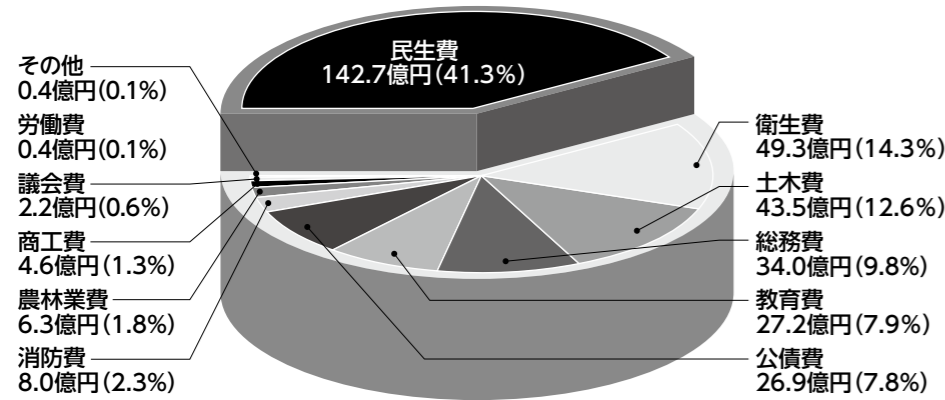
市が、さまざまな市民サービスを行うために集める収入(歳入予算)の状況です。



上のグラフのとおり、収入の約7割が「依存財源」であるため、本市の財政状況は国の動向によって大きく左右されます。

## 支出の内訳

右ページに記載している事業などを実施するための支出(歳出予算)の状況です。



**民生費** 生活保護や福祉サービスなどに使われる民生費が予算全体の約4割を占めています。削減が難しい費用であるため、新しい市民サービスや公共施設を整備するためには、財源の確保が非常に重要であるといえます。

<b>民生費</b> 生活保護、高齢者や子育て支援などに使う費用	<b>衛生費</b> ごみの収集や処理、医療や健康づくりに使う費用	<b>土木費</b> 道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理などに使う費用	<b>総務費</b> 税金の徴収や住民票の発行、庁舎の管理などに使う費用
<b>教育費</b> 小中学校や図書館、公民館などの運営・管理などに使う費用	<b>公債費</b> 国や銀行などから借りたお金を返済する費用	<b>消防費</b> 消防署への負担金や消防団の運営などに使う費用	<b>農林業費</b> 農道などの整備・管理や農林業の振興などに使う費用
<b>商工費</b> 商店街や企業の支援、観光客の誘致などに使う費用	<b>議会費</b> 市議会の運営に使う費用	<b>労働費</b> 失業者の支援などに使う費用	<b>その他</b> 災害発生時にその復旧に使う費用や予備費など

※記載した金額などは端数処理を行っているため、合計額などと一致しない場合があります。

◆問い合わせ 財政課財政係(☎85-7106)

# 令和5年度 予算

広報たがわ5月1日号でお知らせしたとおり、令和5年度一般会計当初予算は、4月に市長選挙が控えていたことから、経常的経費を中心に「骨格予算」として編成していました。今回、骨格予算に計上していない政策的経費などを含んだ補正予算が成立しましたので、補正後の予算の内容をお知らせします。なお、6月議会に提案した補正予算案は、議会において、一旦修正可決となりましたが、その後、市長の再議\*を経て原案どおり可決されました。

\*再議：市長が議会の議決に異議がある場合などに、議決を再度審議してもらうもの

### 自主財源

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、本市が自主的に財源として集めることができるお金です。

### 依存財源

国や県からもらう補助金や、国が集めた税金を配分する地方交付税のほか、市の借金である市債などのお金です。福祉サービスや道路、施設の建設などに充てられます。国や県などから受け取るため、税などの自主財源に対して依存財源といわれます。

# 第6次 総合計画

基本理念 ▶ やっぱり田川で暮らしたい

将来像 ▶ あなたのちょうどいいがきっと見つかる

総合計画は、市の総合的な市政運営を図るための、まちづくりの最上位計画です。令和3年度から始まった第6次総合計画の内容や予算を紹介します。

### 策定の背景

少子高齢化の急速な進展や自然災害を教訓とした防災体制に対する意識の変化など、時代の潮流に的確に対応し、本市が持続的に成長していける力を確保しつつ、市民が安心して生活できるよう政策を進めていくため。

本市は、市民が安心してより豊かに暮らせるまちづくりを進めるための中長期的な指針として令和2年度に「第6次田川市総合計画」を策定しました。同計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成。基本構想の基本理念は「やっぱり田川で暮らしたい」、将来像は「あなたのちょうどいいがきっと見つかる」としました。この理念や将来像は、市政の要である「移住・

### 計画期間

**10**年間

令和3年度～令和12年度

(前期) 令和3年度～7年度  
(後期) 令和8年度～12年度

### 令和5年度事業数・事業費

**202**事業

**111**億円

定住の促進」にリンクしており、基本構想における目標人口を4万3千人(令和12年の国勢調査人口)としています。また、基本構想を具現化する基本計画では「都市づくり」「産業・経済」「生活・健康福祉」「教育・文化」「協働・行財政」という5つを基本方針とし、3年間を1期として実施計画を策定。計画の進捗や財政状況などを基に、年度毎に見直ししながら進めます。

## 市政の要「移住・定住政策」の推進

### 1 快適に暮らせる美しいまちづくり

中心拠点への都市機能の誘導や集約、持続可能な公共交通ネットワークの構築などにより、便利で快適な都市基盤や生活基盤の整備を図る。

都市づくり  
約**38**億円

### 2 魅力あふれる産業を育むまちづくり

新産業の創出や地場企業を支援し、雇用を安定化させるとともに、地域資源をいかした魅力ある観光地づくりを推進する。

産業・経済  
約**7**億円

### 3 健やかに安心して暮らせるまちづくり

子育て環境の充実を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや地域の医療体制の構築に努める。市民が生きがいを持って暮らせる共生社会の実現を目指す。

生活・健康福祉  
約**39**億円

### 4 郷土を愛し豊かな心と創造力を育むまちづくり

子どもの健康増進に努めるとともに、創造する意欲や学力の向上を目指し、教育環境の充実を図る。市民が人権を尊重し、生きがいを感じられる環境づくりに努める。

教育・文化  
約**19**億円

### 5 互いに支え合い市民と共に歩むまちづくり

行政の透明性や効率性、財源確保に努める。防災体制の強化や市民生活を守る安全対策の充実を図る。田川地域8市町村との多角的な連携を図る。

協働・行財政  
約**8**億円

## 5つの基本方針

金額は令和5年度の予算規模で、一般会計予算345億5,721万円(左ページで紹介)のうち約32%を占めています。第6次総合計画の詳細は市ホームページで公開しています。



◆問い合わせ 経営企画課(☎85-7101)